令和６年度　　事　業　報　告　書

令和６年４月１日から令和７年３月31日まで

特定非営利活動法人　ミャンマー　ファミリー・クリニックと菜園の会

１　事業の成果

平成24年６月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートすることを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップの12の村で平成27年１月から巡回診療を開始した。その活動は昨年度に引き続き地域の住民の命を守り、生活を守ることに注視した。その背景に、令和３年２月１日からの非常事態宣言の影響で住民の生活環境が急速に低下したことが起因する。命を守り、生活を守るために保健衛生指導だけではなく、安全な飲み水を提供するための井戸堀りや、学校への文房具寄付配布など活動を拡大したことは大きな変換時期になると考えられる。さらに、ミャンマーの未来を創る10年計画を策定、その為の土地の選定まで行った。しかし、徴兵制の強化が徐々に厳しくなったため、10年計画の推進は一旦保留とした。保健衛生指導数及び再開した巡回診療数は計16回と減少し、延べ335人の受診者と保健衛生指導の参加者数は1170人となり（約80人/回)。病人の搬送はなかった。現在長引く国軍による非常事態宣言により多くの若者が国外へ働く現実と、また、令和６年２月10日から発令された徴兵制から逃れるために、徴兵制対象の17歳から35歳までの若者が国外へ出て行っているなど国内では混乱状況と共に生活物品の価格高尚などにより、住民の生活が成り立たなくなっている。コロナ感染前は25団体が活動していたが、現在はMFCGを含め約８団体のみが継続活動している。武装地域など危険が伴う地域での活動は停止せざるを得ない状況でもある。当会は、セキュリティを慎重に考慮し、現在、活動は8～12村で行っている。ヘルストークの内容は、MFCGが普段から伝えていたバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなど11項目の保健衛生啓蒙活動が含まれており、常日頃からの予防の重要性が際立った。最近は野菜が購入できないために有機栽培を教えてくれといってくる村の住民が多い。住民の中にはMFCGの活動の必要性を再認識してくれた人もいた。MFCGのミッションである住民の自立(自律)を啓蒙する一貫として、育成した各村での地域保健推進員（CHP）もMFCGのメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。彼らは自分たちで村ごとに目標を掲げ、それを達成するにはどうすればよいか？など毎月、必ずミーティングを行い、改善策を練り、実践につなげている。特にトーイ村のCHPの昨年度からの目標は、高血圧の人の発見と予防。さらに継続的な内服などである。VISITING　CARDを作成し、毎日曜ごとに40歳以上の希望者の血圧を測定し、村にいる助産師との連携を行い、経過を注意深くみていく。測定が10回目になったとき、石鹸を２個プレゼントし、住民自ら定期的なFOLLOW　UPの行動を自発的に起す体制を構築していくという画期的な活動である。

また、菜園に関して、12の村のうちモデルケースとなるト-イ村において2019年からコミュニティガーデンを構築し、活動を進めていた。令和５年３月に設置した農地用の水タンクは、植えた野菜（空心菜・オクラなど）の発育を促進していたが、マンパワー不足のため、今年度の収穫は40%程度になっている。特別活動として、MFCGの活動地ミャウンミャではなく、エーヤワディ地域ラプタタウンシップのシュエパゴン村、全36世帯で令和５年２月10日から開始した安全な飲み水の提供ほ村の住民が自分たちの力で運営を行っており、現在は約1,500,000チャット（約11万円）貯蓄が可能になり、自分たちで修理代金も捻出している。また、トーイ村で以前に掘った井戸が使用不可になったため、修理がよいのか、新たに井戸を掘る必要があるのか、現地に専門家を呼び、確認した結果、２度目の井戸堀のほうが適しているとのことで、３月15日に２度目の井戸堀を行い、現在、水質検査を進めているところである。このように状況が不

安定な中でも、活動は継続して行われており、日本では、例年の7月の成恵会チャリティー演奏会では約200人の方の参加をいただいた。さらに、3月に岩手県国際公衆衛生学会でも講話させていただき、ミャンマーの現状をお伝えすることができた。3月には“MFCG年に一度の報告会”を無事オンサイトとオンラインのハイブリット形式で開催することができ、合計約80人のご支援者さまが参加してくださった。さらに、YWCAやロータリークラブでの卓話も行われ、また、サポーター　パートナーさまが個人的にマルシェなどでMFCGの宣伝を行ってくれる機会をいただいた。1月31日から3月31日までにREADY　FORでマンスリーサポーターを新たに募るキャンパーンを展開し、33人の新規マンスリーサポーターさまの支援に繋がった。新たな試みとして、令和6年度4月1日から美味しいシャン州産のコーヒーの販売を開始し、約425セットを販売した。令和6年度は活動資金の全資金の約80%を活動費に活用することができた。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
A)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1　ヘルストーク(保健衛生）啓発活動	令和6年4月1日ー令和6年3月31日 計16回	ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップン	6～7人	436人（HE）	5526
	2. 活動報告会（MFCG参加イベント，MFCG 年に一度の報告会など）	3 月 22 日（土）	オンサイトとオンラインのハイブリット	20人	約80人	
	3.活動啓発活動（参加イベント・インタビュー雑誌掲載など）	令 6 年奇数号掲載寄稿文　計6回	鎌倉朝日新聞	1人	不特定	
			ミャンマージャポン毎月号	1人	不特定	
			オルタナ寄稿文隔月	1人	不特定	
			大和田園ロータリークラブ	1人	約40人	

B)社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1　ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動 2　ヘルストーク（保健衛生)啓発活動と安全な飲み水のための井戸掘り 3　ヘルストーク（保健衛生）啓発活動と文具寄付（学校教育支援）	令和6年4月1日ー令和7年3月31日 令和6年3月13 日～令和7年3月15 日 令和6年4月1日ー令和7年3月31日	ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップ トーイ村井戸掘り事業（第2回目） ガヤジ村及ペーネコン村の學校	約4～6人 約150人 6～7人	436人（HE) 不特定 489人（文具およびHE)	11292
C)災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1、水害被害への緊急物資支援	令和6年9月10月	チン州の洪水災害に関して			600
D)食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1　専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	定例会(コミュニティガーデンミーティング・その他)	ミャンマーエーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップ 主にトーイ村	3人	151人	3417
E)生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1　専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	3人	234人	3307

（2）その他の事業

事業名	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
コーヒー販売事業	フェアトレード分野で株式会社 ROBELCO との連携。 ミャンマーのシャン州の女性の生活向上のためにつくられた品質高いコーヒー（ランク：スペシャリテイ A)	令和6年4月1日～令和7年3月31日	ロータリーなどの講話会場での販売	約 200人	1178